

# アフターコロナに向けた 栃木県観光活性化への キックオフミーティング



<開会>

坂内 剛至

株式会社DMC鬼怒川温泉 代表取締役

<あいさつ>

末永 洋之 様

栃木県副知事

<あいさつ>

上中 哲也 様

日光市副市長

<あいさつ>

岩崎 平 様

日本航空株式会社総合政策センター調査研究部長

---

観光庁長官 和田 浩一 様  
からのメッセージ

---

栃木県観光関係者の皆様へ



観光振興と地域活性化のため、多大なご尽力をいただき、心より御礼申し上げます。

持続可能な地域づくりに向け、一緒に頑張りましょう！

令和4年5月

観光庁長官 和田 浩一

和田浩一

< 基調講演① >

岡村 清二 様

国土交通省関東運輸局観光部長

# これからの観光と関東運輸局の施策について

観 光 部  
令和4年5月19日



関東運輸局

Kanto District Transport Bureau

# 観光分野における新型コロナウイルス感染症への影響と対応

## ○新型コロナウイルス感染症による影響

- 2020年1月以降の新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大以降、水際対策を徹底したこと、また、国内においても旅行控えの動きが生じたことなどにより、国内外の観光需要は大幅に減少。
- 関東運輸局管内の延べ宿泊者数は、2021年9月30日の緊急事態宣言発令解除後、国や自治体独自の需要喚起策もあり、回復基調にあったものの、2022年1月以降は対2019年同月増減率 1.5～5割弱 の減少で推移するなど、地域差が見られる状況。
- 2022年3月21日のまん延防止等重点措置解除後、3月時点の全国延べ宿泊者数（令和4年3月 第1時速報値）は、対2019年同月増減率約**29%増**となっており、回復の兆しも見られる。

	2021年10月～12月	2022年1月～2月
全国	約27%減	約41%減
茨城	約16%減	約21%減
栃木	約 3%増	約15%減
群馬	約15%減	約33%減
埼玉	約24%減	約22%減
千葉	約36%減	約38%減
東京	約40%減	約45%減
神奈川	約28%減	約17%減
山梨	約19%減	約43%減

都県別 延べ宿泊者数  
(2019年同月増減率)

事業継続・感染症対策への支援とともに、感染対策を図りつつ、地域が連携して実施する環境に配慮した持続可能な観光の推進を図る取組等を支援し、危機に対して強靱で持続可能な観光を実現

## ○事業者に対する資金繰り等支援

- 日本政策金融公庫等による「実質無利子・無担保融資」など
- 「事業復活支援金（R4.6.30まで）」

## ○雇用維持に対する支援

- 雇用調整助成金（特別措置は、R4.6.30まで）
- 在籍型出向への支援（産業雇用安定助成金）など

## ○旅行支援（地域観光事業支援：観光需要の喚起）

- 地域的な感染の拡がりを抑制しつつ、県民による県内旅行のみを対象としていた「県民割支援」については、隣接都道府県→地域ブロック内と対象を拡大し（旅行先または、出発地の都道府県がレベル3となった場合は停止、ワクチン検査等の条件あり）、旅行商品や宿泊に対する割引、地域クーポン付与のために必要な費用を支援
- 新たなGoToトラベル事業は、感染症の状況やワクチンの接種状況等を踏まえ注意深く検討（国事業から再開し、都道府県事業へ移管予定）

## ○補助金等

### 地域一体となった観光地の再生・高付加価値化事業

- 観光地の顔となる宿泊施設を中心とした、地域一体となった面的な観光地再生・高付加価値化について、自治体・DMO等による観光地再生に向けた地域計画の作成や同計画に基づく改修事業等を強力に支援。

### 地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出

- 地域経済を支える観光の本格的な復興の実現に向けて、地域の稼げる看板商品の創出を図るため、自然、食、歴史・文化・芸術、生業、交通等の地域ならではの観光資源を活用したコンテンツの造成から販路開拓まで一貫した支援を実施。

### 新型コロナや原油価格の高騰等を踏まえた環境に配慮した持続可能な観光の推進

- 新型コロナや原油価格高騰等の危機に強靱で持続可能な観光を実現するため、その影響を受ける観光事業者等に対して、感染対策を図りつつ、地域が連携して実施する環境に配慮した持続可能な観光の推進を図る取組への支援を実施。

## 国の実施する「新たなGo To トラベル事業」の考え方

我が国の地域経済を支える観光の需要喚起を図るため、ワクチン接種証明や検査の活用による安全・安心の確保を前提とした仕組みに見直すとともに、**平日への旅行需要の分散化策等**を講じつつ、「**新たなGo To トラベル事業**」を実施する。

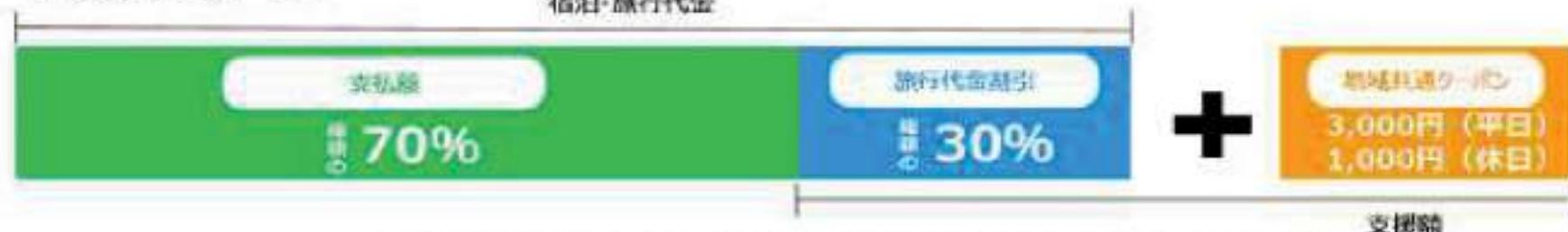
※国による事業はGW前まで実施、春休みは対象外

### 事業実施にあたってのポイント

- **ワクチン・検査パッケージの活用**（ワクチン接種証明又は陰性証明を利用条件として設定）
- 感染防止対策
  - ・ 旅行後2週間以内に**陽性となった際の報告**や**旅行中の行動履歴の記録**の利用条件化
  - ・ GoTo事務局による旅行2週間後の**健康状態に関する抽出調査**の実施
- **低価格帯の実質割引率の引上げ**（割引率・割引上限額の引下げ、地域共通クーポンの定額化）
- **団体旅行**について、国の事業終了後の都道府県の実施において一定の**専用給付枠**を割り当て
- **平日は地域共通クーポン券を上乗せ**
- **交通費を含む旅行商品は割引上限額を引上げ**
- 国の事業終了後は**都道府県による事業**とし、地域の実情に応じて柔軟に割引率等を設定

### 【支援額のイメージ】

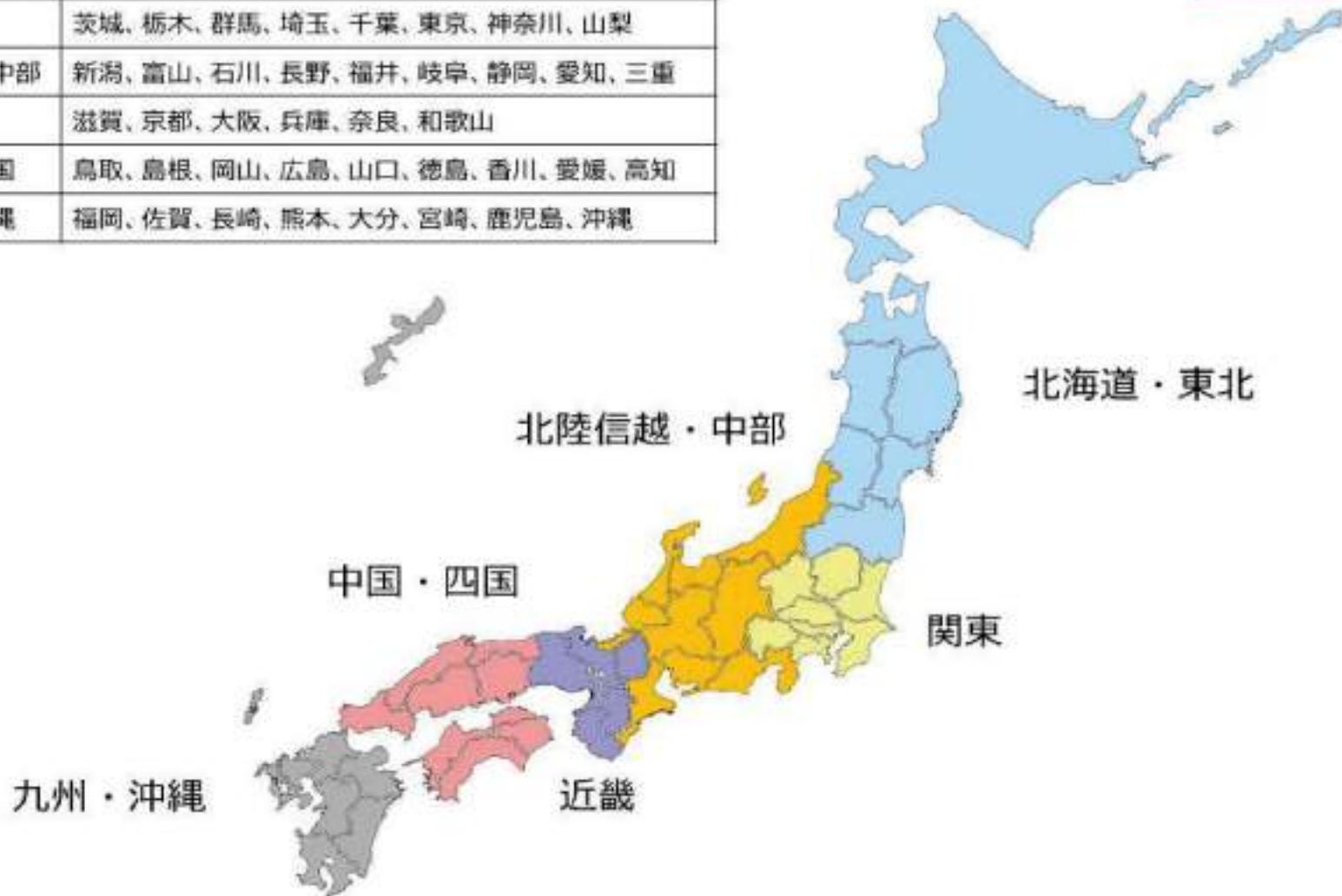
宿泊・旅行代金



※割引上限額：交通付商品10,000円、交通付商品以外7,000円、日帰り旅行3,000円

**取扱注意**

北海道・東北	北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨
北陸信越・中部	新潟、富山、石川、長野、福井、岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国・四国	鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
九州・沖縄	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄



# 県民割支援の要件について（令和4年5月9日～）

参考



R4.4/1～4/28

## 【補助対象】

- 県民による県内旅行
- 隣接都道府県からの旅行者による県内旅行
- 地域ブロック内の都道府県からの旅行者による県内旅行

## 【補助要件①】

- ワクチン接種歴(3回)or 検査結果  
(同一県内旅行は知事判断により従前の運用  
(ワクチン接種歴(2回)or検査結果)も可能)
- ※12歳未満は監護者同伴を条件に検査不要

## 【補助要件②】

- 以下に該当する場合は補助停止。
  - ①レベル3相当以上と知事が判断した都道府県
  - ②緊急事態宣言措置の対象となった都道府県
  - ③まん延防止等重点措置の対象となった都道府県  
(措置区域に限る。)

## 【補助要件③】

- 支援対象とする都道府県が事業実施県の割引事業の内容に対する同意

R4.5/9～

## 【補助対象】

変更なし

## 【補助要件①】

- ワクチン接種歴(3回)or 検査結果  
(感染拡大局面がなく、感染リスクが低いと知事が判断する都道府県における同一県内旅行は、ワクチン接種歴(2回)or検査結果も可能)
- ※12歳未満は監護者同伴を条件に検査不要

## 【補助要件②】(以下を追加)

- レベル2相当であっても、感染拡大局面にあると知事が判断する場合は、県民割事業の停止を検討すること。

## 【補助対象】

変更なし

# 都道府県別コールセンター連絡先

別紙
----

## 都道府県別コールセンター連絡先

都道府県名	事務局名	事務局電話番号	都道府県名	事務局名	事務局電話番号
北海道	「どうみん劇」事務局	011-208-7002	三重県	みえ橋トラベルクーポン事務局	050-3644-3575
青森県	青森県おでかけキャンペーン事務局	017-775-5031	滋賀県	公益財団法人 びわこビクターズビューロー	077-511-1530
岩手県	いわて旅応援プロジェクト(第2弾) いわて応援クーポン事務局	019-623-1145	京都府	きょうと魅力発見旅プロジェクト事務局	075-284-0149
宮城県	みやぎ宿泊キャンペーン事務局	050-6868-9823	大阪府		
秋田県	「旅して応援！」あきた観光キャンペーン事務局	0120-338-881	兵庫県	「ふるさと応援1011」こもろしよキャンペーン コールセンター	078-599-7752
山形県	やまがた観光コールセンター	0570-087-125	奈良県	春のいまなら、キャンペーン2022事務局	0742-85-1234
福島県	県民旅プラス事務局サポーター	0570-000-337	和歌山県	わかやまリゾートプロジェクト推進事務局	0120-500-905
茨城県	いばらきあんしん観光コールセンター	0570-064-407	鳥取県	#WeLove鳥取&スペシャルウェルカムキャンペーン事務局	0857-36-9090
栃木県	県民一家族旅行事務局	028-614-7207	島根県	#WeLove島根キャンペーン島根事務局	0852-43-0001
群馬県	愛称くんまプロジェクト(第4弾)「宿泊キャンペーン」事務局 「日帰りキャンペーン」事務局	027-243-7274 027-223-5800	岡山県	「あかやま旅応援」事務局	086-201-1444
埼玉県	「旅して！埼玉県」観光応援キャンペーン事務局	0570-666-723	広島県	やっぴ広島じゃあ事務局	082-221-7261
千葉県	千葉とく旅キャンペーン事務局観光事務局	0570-077-782	山口県	旅々やまぐち県民事務局	0120-125-231
東京都			徳島県	「あんなで！とくしま応援」事務局	088-623-7708
神奈川県	かながわ旅動事務局	045-285-0071	香川県	「旅つどん県民旅まっかかむね」事務局	087-823-5011
新潟県	「旅つどん！いわがた県民旅キャンペーン」事務局	0570-00-2287	愛媛県	一般財団法人 愛媛県観光推進協会	089-961-4500
富山県	地元で旅しよう！とやま観光キャンペーン事務局	076-443-2733	愛知県	愛知観光トラベルキャンペーン事務局	088-820-7401
石川県	県民向け県内旅行応援事務局	050-5445-1394	徳島県	「旅つどん！徳島の旅」観光キャンペーン事務局観光事務局	092-285-8814
福井県	ふくいdeおでかけキャンペーン事務局	0776-97-9527	佐賀県	佐賀県観光振興局観光推進課観光クーポン事務局 (キャンペーン事務局)	0952-20-0378
山梨県	やまなし「びわこ」キャンペーン 推進事務局	050-5370-5530	長崎県	第2弾ふるさとで「心呼吸」の旅事務局	095-818-3355
長野県	「県民旅 新たな旅のスタイル」推進事務局	026-263-7311	熊本県	「くまもと観光発見の旅」事務局	096-312-1131
岐阜県	「はつと一息、ぎふの旅」キャンペーン事務局	0570-09-4646(事務局) 0570-55-0812(旅行委員)	大分県	新しいおいた旅動事務局	0570-008-870 0570-057-788
静岡県	しずおか観光事務局	0570-666-867	宮崎県	公益財団法人 宮崎県観光協会	0985-26-6100
愛知県	あいち旅のまねーキャンペーン事務局	0570-080-028	鹿児島県	今こそ鹿児島観光振興商品事務局	099-252-7421
	LOVEあいちキャンペーン事務局	052-446-7721	沖縄県	おきなわ観光発見キャンペーン推進事務局コールセンター	098-901-7210

# 持続可能な観光のとりくみ

## ○ 持続可能な開発目標

■ 2015年9月の国連サミットで全会一致で採択。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする**17の国際目標**。（その下に、169のターゲット、231の指標が決められている。）



- 普遍性** 先進国を含め、**全ての国が行動**
- 包摂性** 人間の安全保障の理念を反映し、「**誰一人取り残さない**」
- 参画型** **全てのステークホルダーが役割を**
- 統合性** 社会・経済・環境に**統合的に取り組む**
- 透明性** **定期的にフォローアップ**

## ○ 日本国内のSDGs推進体制



持続可能な開発目標(SDGs)と関係のある施策の実現について、関係行政機関等の関係者連携を図り、総合的に推進するため、内閣に設置。

出典：外務省資料

## 持続可能な観光に関する観光庁の取組



## 令和3年度「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」導入モデル事業



### (1) 持続可能な観光ガイドラインの開発と導入モデル事業

○ 各地方公共団体や観光地づくり法人(OAM)が、観光客と地域住民双方に配慮し、多面的かつ総合的な施策計画や中長期的な計画に基づき持続可能な観光地をマネジメントを行うことができるよう、国際基準に準拠した観光指標を盛り込んだ「日本版持続可能な観光ガイドライン」を開発(令和2年6月)。

○ 令和3年度以降の導入に関するモデル事業を各地で実施。令和3年度は15地区において実施中。

モデル地区	取組の方向性
宮城県	1. 持続可能な観光ガイドラインの策定と実施へのアライン 2. 持続可能な観光ガイドラインの策定と実施へのアライン 3. 持続可能な観光ガイドラインの策定と実施へのアライン
山梨県	1. 持続可能な観光ガイドラインの策定と実施へのアライン 2. 持続可能な観光ガイドラインの策定と実施へのアライン 3. 持続可能な観光ガイドラインの策定と実施へのアライン
長野県	1. 持続可能な観光ガイドラインの策定と実施へのアライン 2. 持続可能な観光ガイドラインの策定と実施へのアライン 3. 持続可能な観光ガイドラインの策定と実施へのアライン
新潟県	1. 持続可能な観光ガイドラインの策定と実施へのアライン 2. 持続可能な観光ガイドラインの策定と実施へのアライン 3. 持続可能な観光ガイドラインの策定と実施へのアライン
静岡県	1. 持続可能な観光ガイドラインの策定と実施へのアライン 2. 持続可能な観光ガイドラインの策定と実施へのアライン 3. 持続可能な観光ガイドラインの策定と実施へのアライン
千葉県	1. 持続可能な観光ガイドラインの策定と実施へのアライン 2. 持続可能な観光ガイドラインの策定と実施へのアライン 3. 持続可能な観光ガイドラインの策定と実施へのアライン

### (2) マナー啓発に関する国内外での発信

○ 日本版「持続可能な観光ガイドライン」のホームページにおける発信(平成30年5月～)

○ マナー啓発動画の作成、ホームページにおける発信(令和2年1月～)

日本文化・習慣に不慣れな外国人旅行者に向け、日本を楽しく訪れるよう、旅行中様々な場面でのマナーを伝えます。

「海外の観光客に寄り添う。これができた。っていいことですね!」

観光地を訪問して、公共交通機関や観光施設で環境

### (3) 先進事例等の整理・周知

○ 「持続可能な観光推進本部」を市内に新たに設置(平成30年の月)、地方公共団体へのアンケート調査等により、国内外の先進事例を整理するとともに、観光庁としての今後の取組の方向性について検討。

○ 本部における検討の結果として、観光庁「持続可能な観光先進国に向けた」を公表(令和元年6月)。

＜先進事例＞

事前予約制による予約制(佐賀県)

マナー啓発リーフレット(東京都)

### モデル事業概要

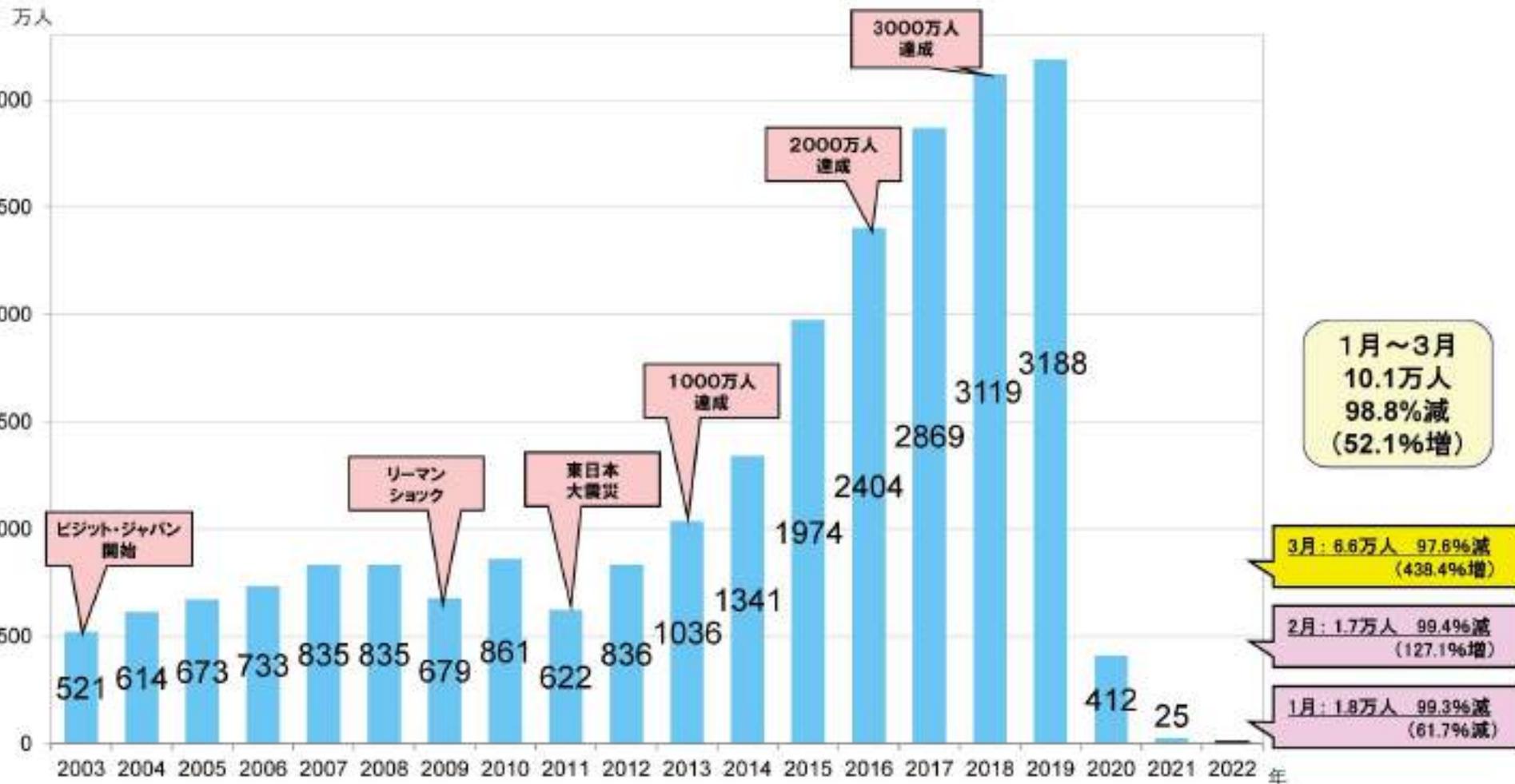
- ① GSTCの公認のトレーニング・プログラムの開催
- ② モデル地区の実情に応じた具体的取組の実施
- ③ 持続可能な観光への取組を推進するためのアドバイザー派遣
- ④ 国際的な認証機関(グリーン・ディスティネーションズ(GD))による評価・表彰制度「TOP100選」へのエントリー支援
- ⑤ ガイドラインの全項目のアセスメントレポート作成レポート作成に対する有識者活用指導の実施

令和3年度(令和3年)4月～  
令和4年度(令和4年)3月予定

令和3年度モデル地区(計15地区)	※県不同	
1	千葉県	北葛城郡
2	宮城県	岩手県
3	東京都	東京都
4	静岡県	静岡県
5	一般社団法人観光振興協会	神奈川県
6	一般社団法人観光文化振興機構	群馬県
7	ななび、なかのとMO	和歌山県
8	奈良県	奈良県
9	一般社団法人多摩半島観光事業協会・周知多摩	東京都
10	小笠原町	青森県
11	一般社団法人キタ・マネジメント、大津市	愛知県
12	茨城県	熊本県
13	一般社団法人ららLABO	熊本県
14	大島郡と輪町	鹿児島県
15	一般社団法人あまみ大島観光物産連盟	鹿児島県

# 参考：訪日外国人旅行者数の推移

※昨年は、新型コロナウイルスの影響により、出入国者数が激減する等、特殊な状況となったことに鑑み、各月の訪日外国人旅行者数は2019年を基準として比較した数字を記載。



注) 2020年以前の値は確定値、2021年、2022年1月の値は暫定値、2022年2月～3月の値は推計値、%は対2019年同月比、( )内は対前年同月比

# 関東エリアの特性とポテンシャルについて

## 1. 発達した交通インフラ

関東は、国内を代表するゲートウェイである成田空港と羽田空港にあわせ、鉄道や港湾高速道路等の交通インフラも十分に整備されており、この高度に整備された交通網を利用すれば、東京を起点とした場合150km程度圏内であれば、ほとんどの観光地を2時間～3時間程度で移動できる、他の地域と比べても極めて優位な条件を兼ね備えているエリアである。



関東の主な観光地(概ね150km圏内)



首都圏環状道路の整備状況

国土交通省HPより

## 2. 多彩・豊富なコンテンツ

関東は、豊かな山海の自然にも囲まれた地域である。国内有数の温泉地でもある箱根、草津、鬼怒川等があり、歴史文化的観光地として人気のある鎌倉や小江戸三都と称される栃木、川越、香取も抱えている。また、和洋折衷の豊富な食文化を堪能できるなど、ポテンシャルの高いエリアでもある。

# 全国と関東(1都7県)の人口推移・予測

(千人)

(2015=1.00)



出典：～2021年：『人口推計』総務省  
2025年～：『日本の地域別将来推計人口』国立社会保障・人口問題研究所

# 観光交流人口による経済効果(2019年)

- **定住人口1人当たりの年間消費額** (130万円) は、旅行者の消費に換算すると**外国人旅行者8人分**、**国内旅行者(宿泊) 23人分**、**国内旅行者(日帰り) 75人分**にあたる。

定住人口=1億2,617万人  
1人当たり年間消費額=130万円

## 旅行消費額

訪日外国人旅行4.8兆円

国内旅行(海外分除く)21.9兆円

うち宿泊旅行 17.2兆円  
うち日帰り旅行 4.8兆円

訪日外国人旅行者  
3,188万人

国内旅行者(宿泊+日帰り)  
5億8,710万人 <延べ人数>

1人1回当たり旅行支出  
15万8,531円

1人1回当たり消費額  
宿泊 5万5,054円  
日帰り 1万7,334円

+

減少

定住人口1人減少分

拡大

外国人旅行者8人分

又は

国内旅行者(宿泊)23人分

又は

国内旅行者(日帰り)75人分

定住人口は2019年10月1日現在人口推計(総務省)、定住人口1人当たり年間消費額は2019年家計調査(総務省)による。  
旅行消費額の訪日外国人旅行は訪日外国人消費動向調査(2019年)より算出、国内旅行は旅行・観光消費動向調査(2019年)より算出。  
訪日外国人旅行者は日本政府観光局(2019年)発表数値、国内旅行者は旅行・観光消費動向調査(2019年)より算出。  
訪日外国人旅行者1人1回当たり消費額は訪日外国人消費動向調査(2019年)、国内旅行者(宿泊/日帰り)1人1回当たり消費額は旅行・観光消費動向調査(2019年)より算出。  
定住人口1人減少分に相当する旅行者人数は、定住人口1人当たり年間消費額を訪日外国人旅行者又は国内旅行者1人1回当たり消費額で除したものである。(※観光庁資料)

# 魅力的な商品造成と上質なサービスの提供

観光資源の磨きあげによる顧客価値の創造



着地型商品の開発と育成が重要



受入環境の向上による良質なサービスの提供

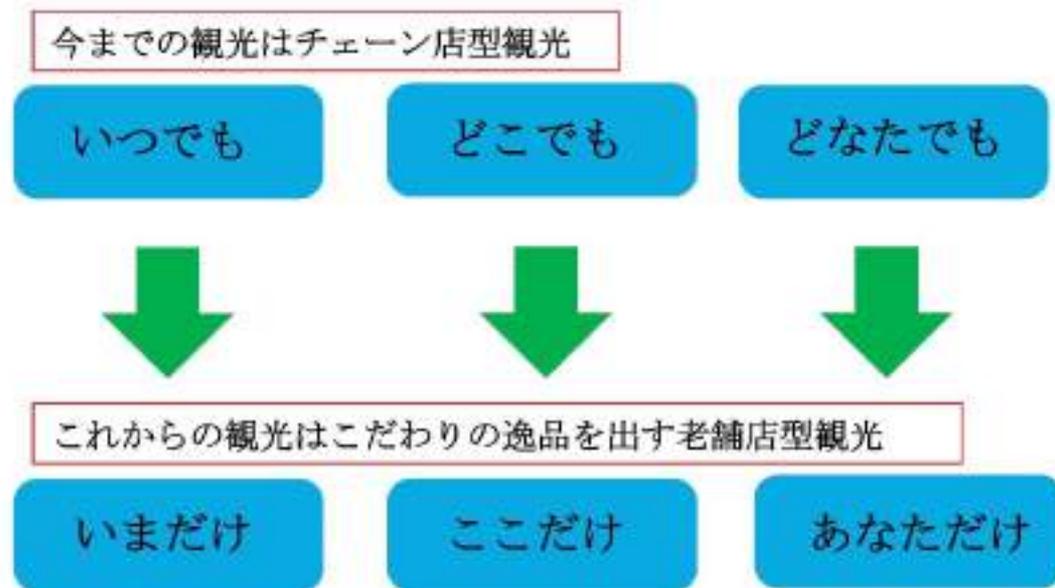


ポイント

時間の過ごし方をどう提案していけるか

# 商品価値を高めることがポイント

そこでしか体験することの出来ない オンリーワンの旅



- 「今だけ」 → 「この季節、今だけの旬に」
- 「ここだけ」 → 「ここの土地だけで見られるもの（体験できるもの）」
- 「あなただけ」 → 「私だけ特別に提供してくれる」



出典：月明かり花回廊より

# 地域活性化のための観光振興(令和4年度)

## 観光施策

### 「国内外の観光客を惹きつける滞在コンテンツの造成・充実」

○インバウンドのみならず国内観光客にとってもより一層魅力ある観光地域づくりの促進のため、地域に眠る自然・食・文化などの観光資源を磨き上げ、その価値を深く体感・体験できる滞在型コンテンツを造成する。

## <実際の具体的な取組>

### 1 地域に眠る観光資源の磨き上げのための環境整備

#### 【DMO意見交換会】

- 全体会議 R4.10月
- ブロック分科会
  - ①R4.6月予定 ②R5.2月予定



#### 【連絡調整会議】

- R4.06 R4年度第1回予定
- R4.10 R4年度第2回予定
- R5.02 R4年度第3回予定

#### 【DMO体制強化事業】

- インバウンドに対応したマネジメント体制が確立されたDMOを対象に外部専門人材の登用、中核人材育成、自主財源導入に向けた合意形成等の取組を支援

#### 【関東運輸局：江戸街道プロジェクト】

- インバウンド向けに「Tokyo & Around Tokyo」として展開している広域関東を、「江戸街道」という統一テーマにより更にブランディングすることで、効果的に国内及び海外へ発信し誘客を促進させる

### 2 各種補助事業等を活用した地域と連携した観光コンテンツの造成やプロモーション

#### 【サステナブルな観光コンテンツ強化事業】

サステナブルな観光を希望する訪日外国人旅行者をターゲットに、地域本来の生活（生業）・自然環境・文化等を保全・活用しつつ、それらの魅力を体験してもらう観光コンテンツの形成等を推進する。



#### 【広域周遊観光促進のための観光地域支援事業】

旅行者の混雑や密を低減させつつ、国内外の旅行者の各地遊を促進するため、観光地域づくり法人（DMO）が域への周中心となり、地域が一体となって行う、調査・戦略策定、滞在コンテンツの充実、受入環境整備、旅行商品流通環境整備、情報発信といった取組に対して総合的な支援を行う。



#### 【レガシー形成事業】

持続的な観光地経営の実現を図るため、将来にわたって国内外から旅行者を惹きつけ、継続的な来訪や消費額向上につながるよう、地域のレガシーとなるコンテンツを形成する。



#### 【看板商品創出事業】（伴走支援）

地域の稼げる看板商品の創出を図るため、自然、食、歴史・文化・芸術、生業、交通等の地域ならではの観光資源を活用したコンテンツの造成から販路開拓まで一貫した支援を実施。

# 広域関東における『江戸街道プロジェクト』(案)

## 【目的】

日本橋を起点とする**五街道**と、その枝道として整備された水戸街道や成田街道等の**脇往還**(以降、五街道と脇往還を合わせて「江戸街道」という。)については、**関東広域エリア(※)**を網羅しており、現在でもこの江戸街道沿いには歴史的な観光資源はもとより、食や文化など魅力的なコンテンツが豊富に点在している。そこで、現在「Tokyo & Around Tokyo」として展開している広域関東を「江戸街道」という**統一テーマ**によって更にブランディングすることで、効果的に国内及び海外へ発信し誘客を促進させ、コロナ禍で疲弊した広域関東に元気を取り戻す取り組みを行う。

また、広域関東として地域の特性を活かしながら、DMO等が地域において稼げる仕組みづくりを行う。

(※…福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県の1都10県)

## 【主な事業(案)】

- ①キックオフとしてシンポジウムの開催(6月下旬~7月上旬を予定)  
→意義と目的を広く多くの方々に周知する
- ②街道をテーマとした実証事業や、観光資源を発掘する調査事業の実施  
→「江戸街道」事業が広域関東の観光振興にとって有益であることを示す
- ③すべての「街道」事業を取りまとめられるプラットフォームを構築  
→既存事業の認知度を向上させる情報発信を一元的に行う

## 【ターゲット】

- 国内観光客…歴史好き女子(刀剣、神社仏閣、御朱印、仏像、城等)、健康志向の高齢者、車や鉄道、自転車を利用するユーザー等。
  - 訪日外国人…今後のインバウンド回復に向けた戦略的準備として、日本の伝統文化や歴史に関心のある欧米豪市場を対象とした検討を進める。
- ※まずは国内観光客を主なターゲットとしつつ、将来の訪日外国人も見据える。

## 【連携可能なコンテンツ】

- ・温泉 ・歴史遺産 ・四季の景観美 ・神話やパワースポット
- ・宿場町 ・伝統文化 ・ふるさと原風景 ・都市観光
- ・食文化 ・産業 等

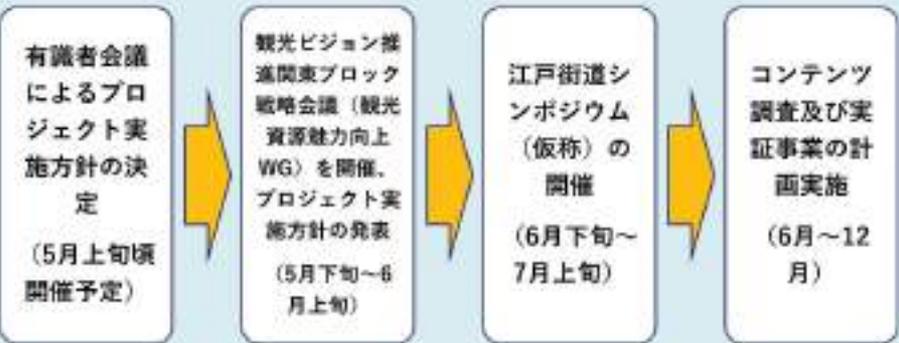
## 【事業コンセプト】

- 以下のテーマでの2泊3日以上の旅-
- ・過去から現代そして未来を学ぶ
- ・ノスタルジックなレトロ体験
- ・癒やし満載の食と温泉
- ・関連パワースポット巡り

## 【想定する関係者】

- 各者連携して行う
- ・自治体、観光・交通事業者
  - ・観光協会、DMO等

## 【今後のスケジュール】



※2回目以降の有識者会議および観光資源魅力向上WGは適時開催予定



< 基調講演② >

東原 祥匡 様

日本航空株式会社デジタルイノベーション本部事業創造戦略部  
MaaSグループ アシスタントマネジャー



# アフターコロナに向けた栃木県観光活性化へのキックオフミーティング 企業の取り組みから考える働き方の多様性と地域活性

日本航空株式会社

2022年5月19日

# 自己紹介



**日本航空  
デジタルイノベーション本部  
事業創造戦略部 MaaSグループ**

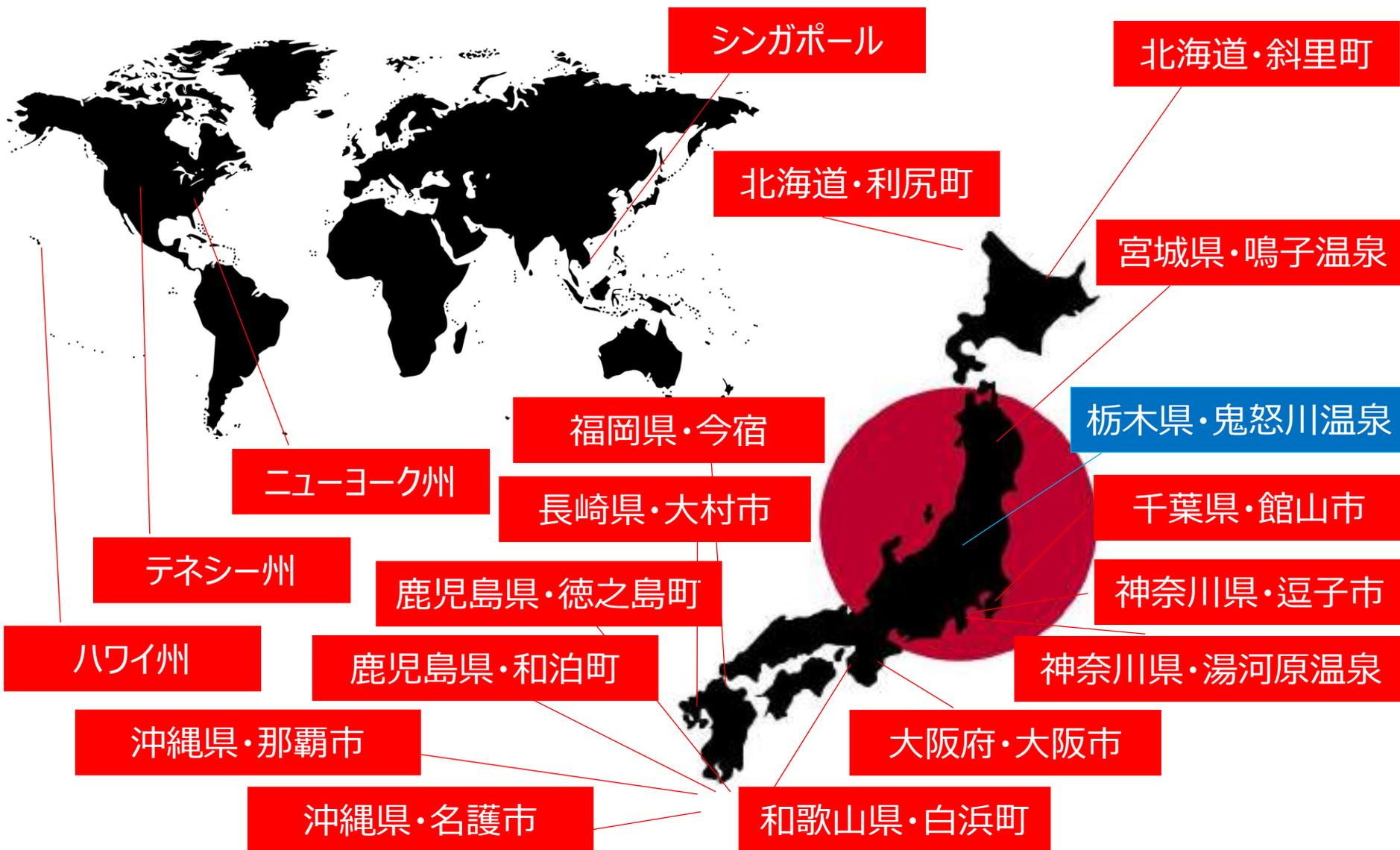
**東原 祥匡（ひがしはら よしまさ）**

- 2007年 日本航空株式会社入社 関西国際空港勤務
- 2008年 国際線を中心とした客室乗務員を経験
- 2010年 客室乗務員の人事、採用、広報等を担当
- 2015年 社外出向
- 2017年 人財本部 人財戦略部 厚生企画・労務グループにて 勤怠・規程等の労務、D&I、ワークスタイル変革

2020年 観光庁「MICE 参加者のブレッジャー促進連絡会」委員  
 2021年 日本ワーケーション協会公認 ワーケーションコンシェルジュ  
 2021年 「みえモデルワーケーション研究会」幹事会委員  
 2021年 観光庁「新たな旅のスタイル促進事業」アドバイザー

- 2022年 現職

# これまでの自身のワーケーション体験地



# 栃木県での取り組み

## 鬼怒川温泉でのワーケーションモニターツアー（2021年6月）

日本航空の社員が就航地ではない**鬼怒川温泉に3泊4日滞在**  
 平日には業務をリモートで行い、**今後の可能性について温泉旅館と意見交換**を実施  
 自然豊かな鬼怒川の魅力を生かし、アドベンチャーツーリズムも活用したプランニング

- オフではその土地ならではのアクティビティを実施
- 滞在中は宴会場をワーキングスペースとして活用
- 食事はすべて異なる場所で、異なる食事の提供



「鬼怒川グランドホテル 夢の季」他、計3施設で実施

**コロナ禍での一時的な需要減をヒントに、平日の閑散期を活用した  
 長期滞在の可能性を模索。後のインバウンドの需要回復も見据えた施策に**

# 栃木県での取り組み

## 「奥日光ブレジャーツアー」(2020年10月)

アフターコロナを見据えたインバウンドを中心とした奥日光へのブレジャーの可能性を考える東武トップツアーズ様の主催するモニターツアーに講師として参加。



## 「農泊×ワーケーション」の魅力と可能性 シンポジウム(2021年1月)

有形文化財ホテル「飯塚邸」(那珂川町)にて、全国農協観光協会様の主催するシンポジウムへ参加。企業・社員目線、地域目線など多方面からのディスカッションを実施。



# 本日は話すること

1. コロナ禍から考える企業における課題感
2. 企業におけるワーケーションの取り組み
3. 地域と考えるアフターコロナへの取り組み

# 1. コロナ禍から考える企業における課題感

---

～より求められる柔軟性のある働き方～

# 「New Normal」で目指す姿（アフター・コロナ）

## 自分の時間を自身でマネージメントできる人財へ

採用競争力・人財確保（維持）に大きな影響を与える可能性がある  
 コロナでそのニーズは早まっている

10年後？  
 →2～3年後？

2020年

人財育成・人財確保を  
 2軸で推進

地域

新しい  
 生活様式

- 定住場所の多様化
- 日本全体で労働力の分散
  - BCP対策
  - 地域創生・関係人口の増加
  - 地域の労働力人口の補填
- 兼業・副業で自己成長
- D&Iの推進（少子高齢化）
  - ✓ 障がい者雇用の地方採用の拡大
  - ✓ 介護を抱えても働ける環境の構築
- 時間軸を脱する時間管理に
  - ✓ 所定労働時間の削減
  - ✓ 所定労働日の削減

- 新たな生活様式の確立
- “考える”時間を生み出す
- より生産性の高い業務スタイルに
- 地域創生・社会貢献

アフター・コロナとして継続すべき新たな働き方を目指す

# 「New Normal」に向けたトライアル検証

ウィズ・コロナを踏まえ、JALグループとしての「New Normalな働き方」に向け  
全間接部門向けトライアル検証実施（検証期間：2020.08~10）

2020年7月13日発信：Management Now +PLUS

## ガイドラインの設定

各組織における出社日数や出社率のガイドラインの設定

### ➤ 一般間接部門

各組織においてテレワークを中心としたうえで**出社日数を週3回以下、週2回以下、週1回以下**と設定

### ➤ 現業間接部門(\*)

各組織において出社率を**原則 6割以下**として設定



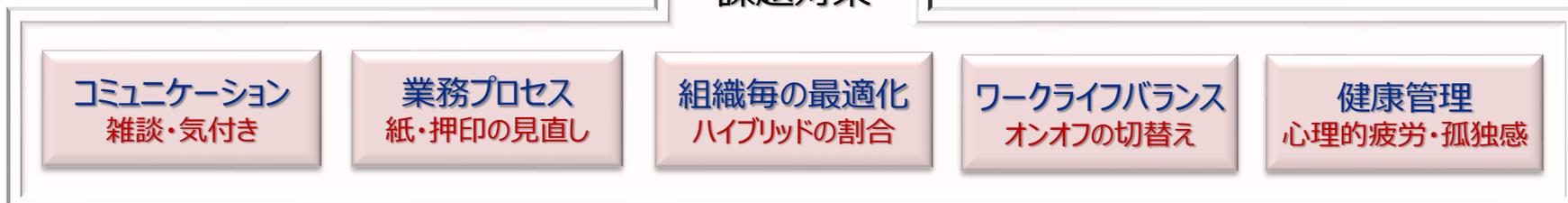
# 今後の方向性



実績・意識

- 一般間接 4 割、現業間接 6 割の働き方ができている
- コミュニケーション上の課題など制約要件の打ち手を考え  
ハイブリッドワークとして各部門に最適な業務スタイルを模索していく

課題対策



## 2. 企業におけるワーケーションの取り組み

---

～JALの取り組みを参考に～

# ワーケーションに関する課題感

## 課題感

地域での取り組みや議論は盛んだが、**企業側の動きが鈍い**

- 地域での受け入れ頻度や期待される市場規模と比較し、企業側にとっては**常時行う施策ではない**ため、より動きが鈍く感じられてしまう
- ワーケーションなどの遠隔地における勤務の制度導入については、**事業運営において必須ではない**
- しかしながら、**企業としても時間と場所に捉われない働き方についてはコロナ禍でさらに考えていかななくてはならない状況**
- 労働市場を考えていくなかで、遠隔地勤務は日本全体の抱える課題も多くあり、**地域や企業が避けては通れない課題**

# 企業におけるワーケーション

## 企業にて制度設計に携わる方の声

(観光庁「新たな旅のスタイル促進事業」アドバイザー担當時の声)

職種等の違いによる公平性が  
担保できない

なんとなくニーズがあると思うが  
メリットが明確にならない

労務管理が大変そう

導入時に何から手を付けてよいか  
わからない



# 企業におけるワーケーション

目的はワーケーションの実施ではありません



**ワーケーションを打ち出すことだけでは  
必ずしも人流を生み出す施策とはならない**

# JALにおける今後の取り組み

新たな人の流れを生み出すことにより  
今後の新たなビジネスモデルを構築することができる

## 2021-2025年度 JALグループ中期経営計画

収益性改善に向けた戦略「成長する需要の獲得」

- 「地方移住やワーケーションの普及促進」「インバウンドの地方への誘客」による首都圏=地方移動需要の獲得

### 新たな需要拡大に向けて

- ワーケーション先進企業として、社会課題の解決に向けた取り組み支援
- 地域における一過性のワーケーション企画でなく、継続的な取り組みへ

## ワーケーションを軸とした協創型コミュニティ 「ワークスタイル研究会」を発足



- ・ ワーケーションに興味・関心の高い自治体と企業をつなぎ、体験モニター企画、企業からの参加者誘致を行い、自治体と企業の課題解決や交流人口・関係人口の拡大を目指す。

# JALのワーケーション・ブリージャー

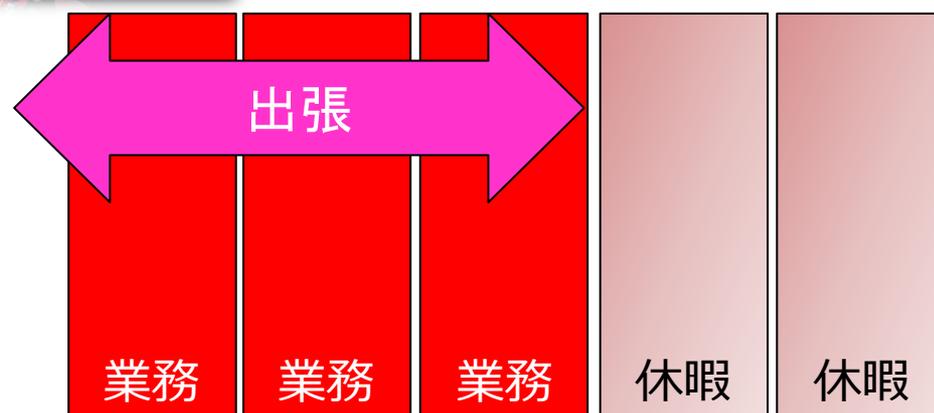
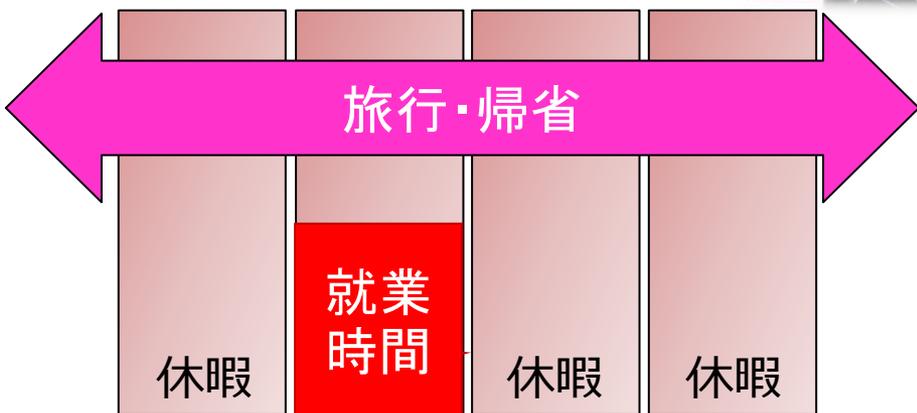
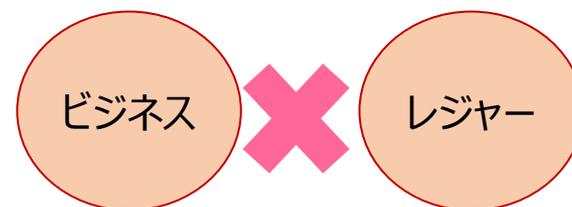
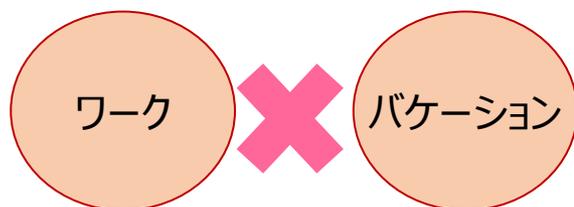
社員の声を反映する形で、休暇取得の実現のためのワーケーションを  
2017年に導入

ワーケーション  
休暇時に一部、業務を認める制度

2017年7月～

ブリージャー  
出張時に休暇がつけられる制度

2019年5月～

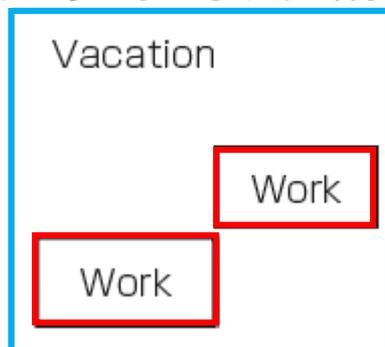


その土地・地域でしかできない経験、体験を通して感性を養い自己成長へ

# さまざまなワーケーション

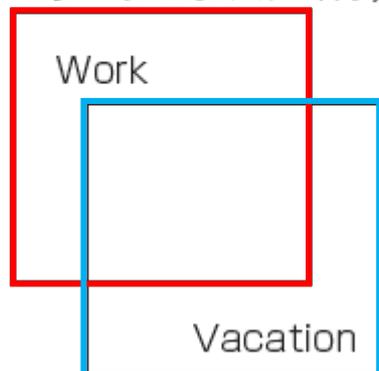
## I. 休暇活用型

(休暇の中に仕事を織り込んだ  
ワーケーションスタイル)



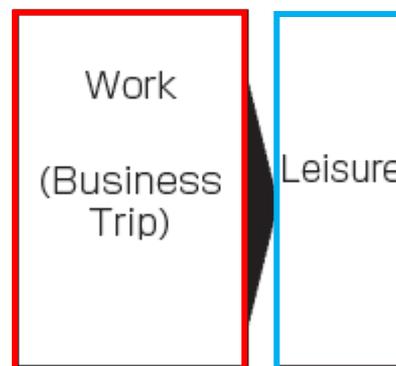
## II. 日常埋込型

(仕事と休暇を重ねて織り込んだ  
ワーケーションスタイル)



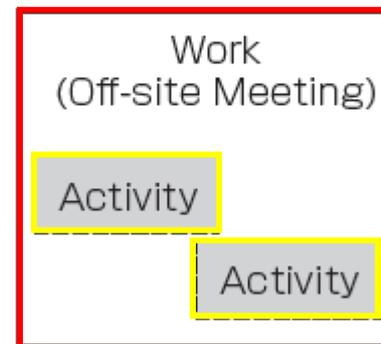
## III. ブリージャー

(出張前後にレジャーを付け足す)



## IV. オフサイトミーティング

(業務としてのオフサイトでの  
会議やグループでの研修)



出所：産労総合研究所「人事実務」（2020年2月号）

ワーケーションで変わる働き方と休み方

山梨大学生命環境学部地域社会システム学科教授 田中敦

# ワーケーションの浸透施策

**社内や社会全体のワーケーションの浸透のため  
初めの一歩を踏み出せるようなプログラムや浸透施策を企画**

## 取り組みサマリー

※継続して実施・参画しているものは初年度のみ記載

年度	社内浸透施策等 (赤字:社員参加型企画)	社外・お客さま等
2017	ワークショップ テレワークデイズにおける役員による体験 和歌山県白浜体験ツアー	
2018	勤怠システム導入 (ワーケーション選択可) イントラページ作成 鹿児島県徳之島町実証事業	ハワイ線・新コンセプトにワーケーション・ブリージャーサポートプラン
2019	ブリージャー導入 国内外4都市における価値創造体験企画 (北海道・愛媛・オーストラリア)	<b>MINDS (異業種連携によるミレニアル世代の働き方改革推進コミュニティ) においてワーケーションプロジェクトのリーダーとして参画</b>
2020		NTTデータ総合研究所・JTBと共にワーケーション実証実験の実施 ジャルパック社によるワーケーションツアー販売 「温泉Biz」参画
2021	<b>鬼怒川温泉ワーケーションモニターツアー</b> 利尻島ワーケーションモニターツアー  <b>「地域と共創型のNewNormalな新しいワークスタイル」検証 (コロナ禍のため実施保留中)</b>	壱岐島ワーケーションモニターツアー

# ワーケーションの浸透に向けた取り組み

## 社外を巻き込んだワーケーション企画

外部企業の初めの一步を後押し、エンゲージメント調査

# MINDS<sup>※</sup> (Millennial Innovation for the Next Diverse Society)

異業種連携によるミレニアル世代の働き方改革推進コミュニティ

2019年1月1日 発足



参画企業のメンバーそれぞれが自身の課題としたいテーマを選択。これまでワーケーション等の取り組みを積極的に行っている**JALがプロジェクトリーダーとして参画**。

<b>実証事業</b>	<p><b>労働者の心理状態についてのアンケート等の調査を実施</b></p> <p>職場環境に求める「時間と場所の制約からの解放」がポジティブに働く要素を検証。通常のオフィスワークを続けている状況と比較し、今後、日本における労働環境が変化していなかでも、一人一人の労働者がいきいきと活躍できる環境について提言。</p>
<b>実施場所</b>	<p>ハワイ (ハワイ島)</p>
<b>実施時期</b>	<p>2019年12月上旬 (2020年2月に報告)</p>



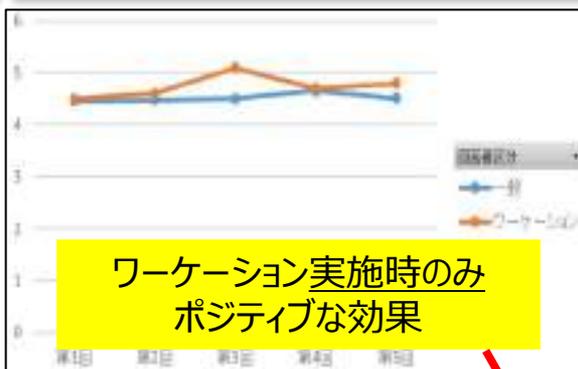
# ワーケーションの浸透に向けた取り組み

## 調査結果

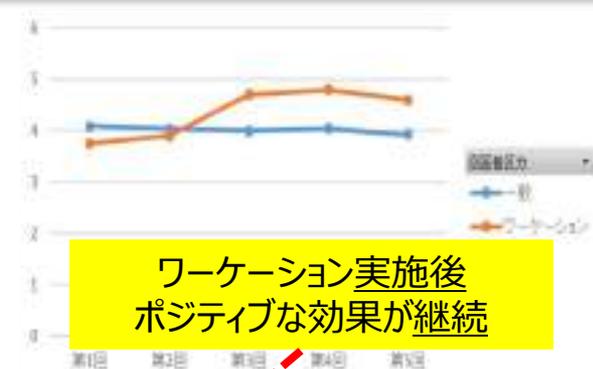
普段と比べ、どの程度仕事に対して  
ストレスを感じるか？



普段と比べ、上司との関係性は  
良好であると感じるか？



今の会社で働き続けたいと思うか？



プライベート・私生活は  
充実しているか？



(第3回のみ) 就労環境別平均値

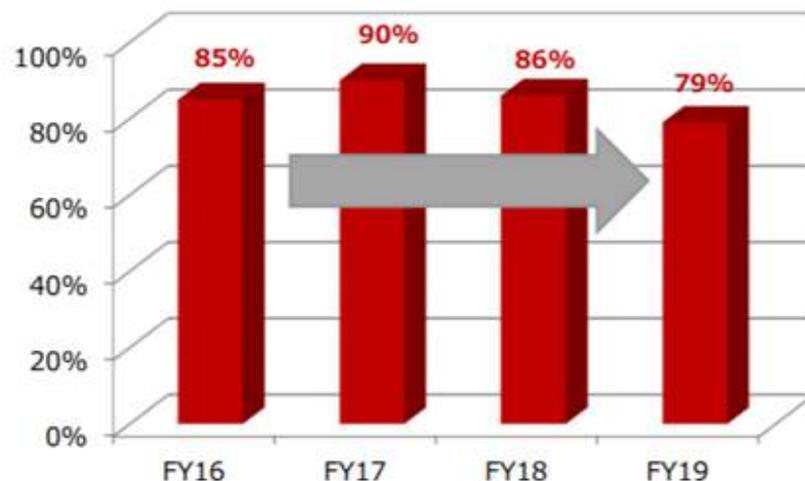


# JALにおけるワーケーション等の実績

## 総実労働時間



## 年次有給休暇取得率



## ワーケーション

2018年度実施者総計 **174人日**  
2019年度実施者総計 **247人日**  
2020年度実施者総計 **918人日**  
※2017年度は夏期期間のみ集計 11人

2020年度については、約530名の社員が  
年度内でワーケーションを活用しています。

## ブリージャー

2019年度実施者総計 **168件**  
※2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で  
出張が少ないことから集計無し

# ワーケーションの魅力

## 企業

時間と場所に捉われない、柔軟性のある働き方の推進  
(長期休暇の取得促進やD&Iの推進)

## 個人・チーム

いつもと異なる環境と経験で自己成長、そして新たな活力に

## 社会

地域活性化へも繋がる新たなワークスタイルへ



日本全体のワークスタイル変革に繋がる取り組みへ

# 3. 地域と考えるアフターコロナへの取り組み

---

～新たな需要の創出を目指して～

# 地域共創を見据えた新たな取り組み

## ワーケーションを活用した「地域と共創型のNewNormalな新しいワークスタイル」を検証

- まずはJALの社員が各地訪問、ワーケーションの実施
- ↓
- 現地で社会貢献活動に参加、地域の求めるニーズを把握
- ↓
- 地域の関係人口創出・労働力向上による地域活性化について考える

### 社会貢献活動プログラム概要（予定）

- 愛媛県 ... **地域の新たな商品レシピ作り**  
\* 果樹園手伝い、収穫された柑橘を活用
- 石川県 ... **里山の環境保全活動**  
\* 耕作放棄地を活用した羊放牧の管理や、親子の自然体験教室お手伝い
- 岩手県 ... **重要文化財を、交流施設として活用**  
\* 街に古くから残る施設を活用、そこで開催されるイベント企画
- 兵庫県 ... **地域映画館で、文化の再興**  
\* 一度閉館されながらも、街の人の手で蘇った昔ながらの映画館でのイベント支援



さらにワーケーションを発展させ、アフターコロナを見据え関係人口の増加や労働力人口の減少といった社会課題の解決へも繋げた取り組みへ

# ワーケーションから気づく地域での過ごし方

- 柔軟性のある働き方が浸透するに従って、平日に跨る滞在の実現性が高まる。延泊による閑散期の需要創出へ。
- コロナ禍を迎え、旅のニーズも変化してきており、個人手配の旅がより進んできている。
- リスクを考えて、一定の時間で帰京できる場所での滞在を好む場合もある。近距離、長距離と求めているニーズが異なる。
- 単発の滞在ではなく、そこに帰ってくる何かがあるとよりその地域の魅力は高まる。
- 一方、地域における出会いの接点や、滞在が長くなるほど交通網の課題など、過ごし方が変化していくにつれ、選択肢の多さも必要となる。

またこの街にまた来たい、またこの人に会いたいと思える  
第二・第三の故郷となる街づくりへ





JAPAN AIRLINES



<パネルディスカッション>

コーディネーター **波木 恵美 様**

鬼怒川グランドホテル夢の季 代表取締役  
観光庁 VISITJAPAN大使

<パネルディスカッション>

パネリスト 早川 公一郎 様

株式会社足利フラワーリゾート 代表取締役

<パネルディスカッション>

パネリスト 外池 茂樹 様

株式会社外地酒造店 代表取締役社長

<パネルディスカッション>

パネリスト 藤井 大介 様

株式会社大田原ツーリズム 代表取締役社長

# 農村観光の取り組みについて

株式会社大田原ツーリズム  
藤井 大介

# DMO

---

## *Destination Management Organization*

- ▶ 観光物件、自然、食、芸術・芸能、風習、風俗など当該地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域作りを行う法人のこと
- ▶ 観光庁の認定制度 令和3年1月7日時点 174 組織が認定
- ▶ 174 組織のうちインバウンドの誘客を含む観光地域振興に積極的に取り組む先駆的なDMOを重点支援DMO 32 組織

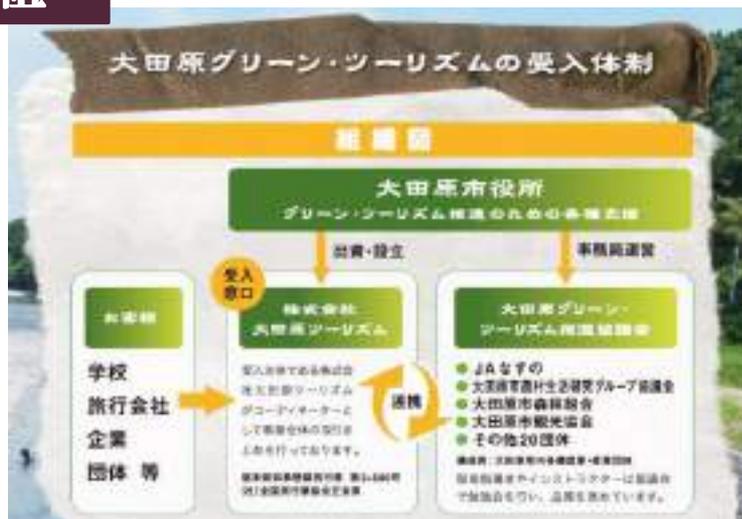
# 大田原

---



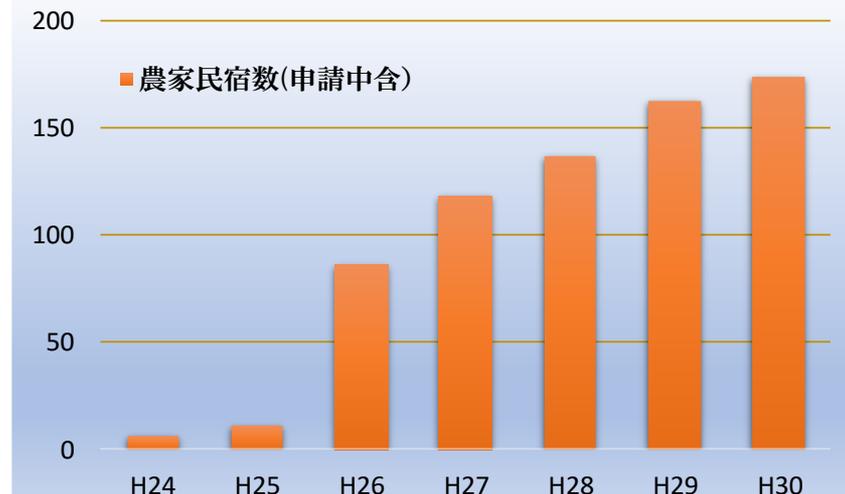
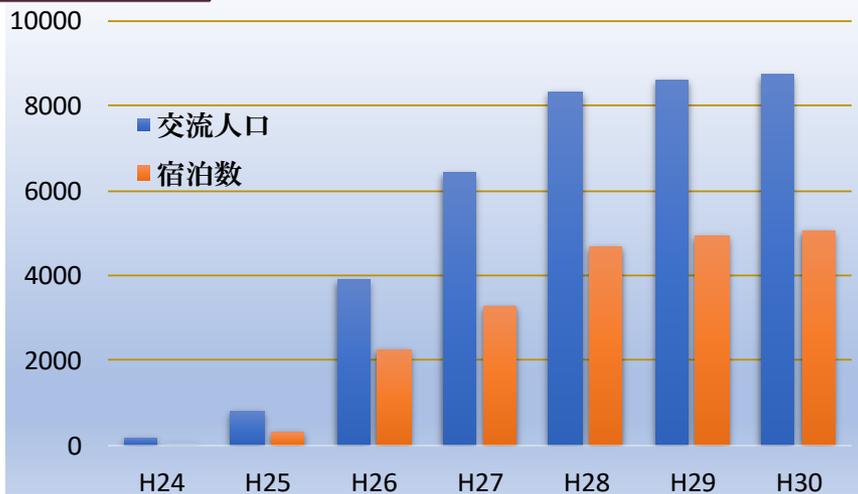
# 大田原ツーリズムの取組・実績

## 取組



- ▶ 商号 株式会社 大田原ツーリズム
- ▶ 事務所所在地 大田原市本町1丁目3番3号  
大田原市総合文化会館2階
- ▶ 役員 7名（常勤1名）
- ▶ 従業員 13名
  - ▶ グリーン・ツーリズム事業 2名
  - ▶ ホテル事業 2名
  - ▶ 経理・事務 2名
  - ▶ その他パート 7名
- ▶ 出資 6,500万円（5,000万円を大田原市が出資）

## 実績



# 大田原ツーリズムの特長

---

## 地域の体験をとりまとめる中核法人

- ▶ 大田原市が出資し官民と立ち上げ第3セクター
- ▶ 地域の農業を中心とした宿泊、体験、交流のコンテンツの企画造成、販売
- ▶ 農家民宿180軒をコーディネート
- ▶ 第2種の旅行業を取得する

## 町一体型ホテルを運営する中核法人

- ▶ 有形文化財ホテル飯塚邸の運営
- ▶ 宿泊だけでなく、地域の体験や食事を提供

○重点支援DMO認定

○地域未来牽引企業

# 旅行業の顧客 団体旅行

---



日本の子供たち

社会人・企業



アジア圏を中心としたインバウンド

# ホテル業の顧客 個人旅行

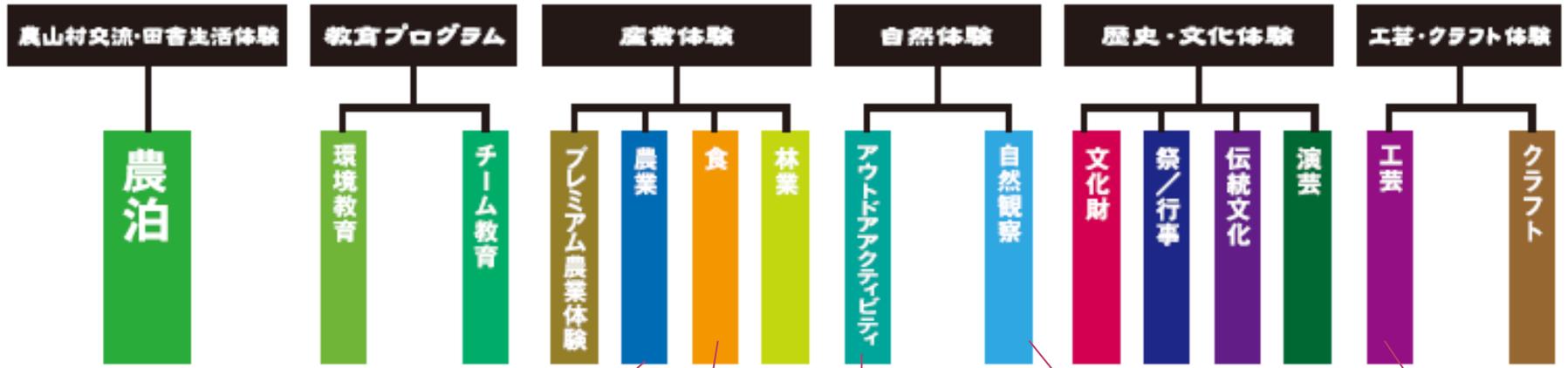
---

都会からの個人旅行者

海外からの長期滞在の個人旅行者

# 旅行業 大田原の体験を提供

観光地ではないこの大田原で、田舎にある、そこにある人と地域資源を活用しながら、自分達が提供できる体験を120以上のプログラムにまとめました



例

Example activities include:

- 田植え体験 (Rice planting experience)
- 製の収穫 (Washi paper harvesting)
- 芭蕉の句碑めぐり (Basho's haikai stone marker tour)
- 雲巖寺散策 (Cloud Rock Temple stroll)
- 西郷林業 (Saigō Forestry)
- 古墳巡り (Ancient Tomb tour)
- 大田原七福神巡り (Ohtawara Seven Lucky Gods tour)
- 七味作り体験 (Seven Spice making experience)
- 田舎種顔作り (Rural face painting)
- ラフティング体験 (Rafting experience)
- カセック体験 (Kasack experience)
- 海苔 (Seaweed)
- 草木染め (Natural dyeing)
- ストーンペイント (Stone painting)
- 苺玉 (Strawberry candy)
- 塩漬キャンドル (Salted candle)
- 小籠籠作り (Ryōko basket making)

# 農家民泊

一番の田舎の良さは、そこにある自然と環境、そして何よりも、気さくに話せる田舎のおじいちゃんとおばあちゃん、その交流を大切にしています。



農家の家に泊まり、農家の生活体験をしながら、農業や、環境、ふるさとの大切さを体験し、田舎の人と交流しなければ得られない感動があります。



# 農家民泊 出合い

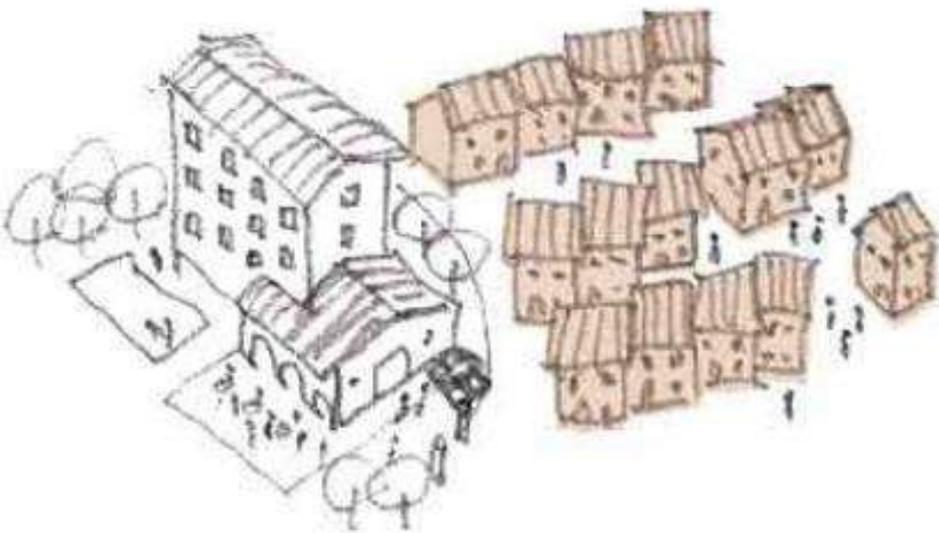
---



# 有形文化財ホテル飯塚邸

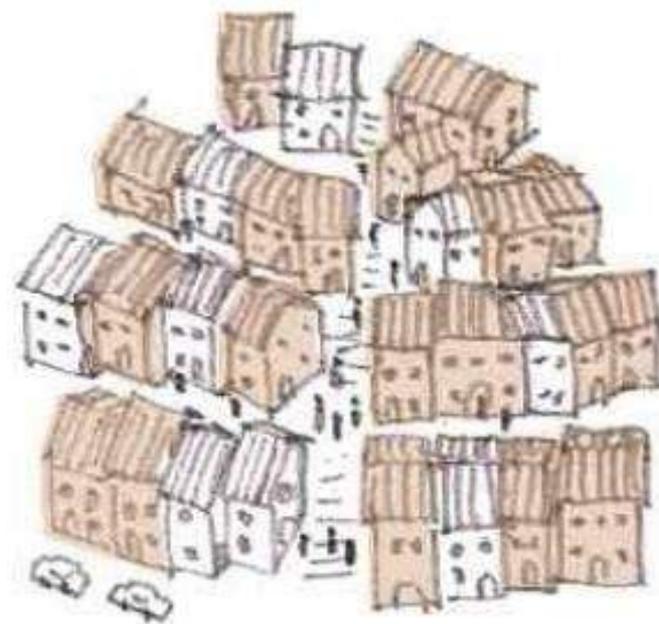


# 飯塚邸コンセプト



## 既存のリゾートホテル

一つの建物にすべてを集約。  
街歩きなどができずに、大型  
施設内で完結してしまう宿泊  
施設。



## 那珂川町 飯塚邸

宿泊施設以外のホテルの機能  
は街の中に点在。食事する飲  
食は既存の町の中で提供した  
り、物販や体験施設も街の中  
の人が提供。町の住民が皆様  
を歓迎します。

# 有形文化財ホテル 飯塚邸



長期滞在用の宿泊部屋  
3グループ宿泊可能（最大 大人5名×3グループ）  
料金（案） 朝食付きプラン ¥2.8万円/名

◀リビング、その他、お風呂、洗面所、トイレもあり

▼2ベッドルーム×2つのセミダブルベッド



# 有形文化財ホテル 飯塚邸



短期滞在用の宿泊部屋

3グループ宿泊可能（最大 大人3名×3グループ）

料金（案） 朝食付きプラン ¥1.8万円/名

◀ 1階の入り口 リビング、お風呂、洗面所、トイレ

▼ 2階はロフト形式でセミダブルベット2個と机



---

# コロナ時の取り組み

# 地域のブランディング 光のイベント





# 飯塚邸ワーケーション



# 那須ペンション分泊

---



# ユニークベニューとは

---

## ▶ MICE

企業等の会議 (Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行 (インセンティブ旅行) (Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議 (Convention)、展示会・見本市、イベント (Exhibition/Event) の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称

▶ MICE主催者は、会議やレセプションの出席者の満足度を高めるため、常に“特別感”を求めています。その土地特有の“特別感”を演出するレセプション

# ユニークベニュー・エクスカーション



---

# 今後の取り組み



# 日本版アグリツーリズモの樹立

---



<パネルディスカッション>

パネリスト **黒崎 泰広 様**

宇都宮市経済産業部産業政策課宇都宮サテライトオフィス 所長

## 宇都宮サテライトオフィスが入居するCIC TOKYOとは？ “世界と繋がるイノベーションの発進基地”

- ・CIC (ケンブリッジ・イノベーション・センター) 1999年に米国ケンブリッジにて創立
- ・イノベーションは社会の様々な問題を解決し、世界をより良く変革するという信念で20年以上イノベーターをサポート
- ・産官学の垣根、産業や世代を越えた人々が繋がり、アイデアがぶつかり合い、新たなイノベーションを創出するハブ



CIC creates **innovation ecosystems** in **city centers** by bringing together a diverse mix of local & global organizations.



アクセス

- 〒105-6415 東京都港区虎ノ門1-17-1 虎ノ門ヒルズビジネスタワー 15階 [Google Maps](#) 東京メトロ日比谷線『虎ノ門ヒルズ駅』直結
- 東京メトロ銀座線『虎ノ門駅』B2・B3・B4出口
- 東京メトロ千代田線・丸ノ内線・日比谷線『霞ヶ関駅』A12出口
- 都営三田線『内幸町駅』A3出口
- JR『新橋駅』より徒歩約11分

<パネルディスカッション>

パネリスト **鈴木 和也 様**

那須高原リゾート開発株式会社 那須どうぶつ王国 総支配人

# 那須どうぶつ王国 スペクタクル鈴木



アフターコロナに向けた栃木県観光活性化への  
キックオフミーティング

2022年5月19日



支援総額 95,590,000 支援者数 5,194人

ファンの皆様との深い双方向のコミュニケーションが生まれた



\*実施期間: 2021年08月30日 -2021年10月31日 (62日間)

\*訪問者数: 66,032人

\*支援者数: 2,216人

\*支援金額: 42,125,000円(140%)

\*支援率: 3.36%(←弊社平均3%)

\*READYFORユーザー率: 57%(←弊社平均30%)

※すでに一度以上弊社で支援をしたことがある人

\*第三者支援数率: 92.39%(←500万円以上PJの弊社平均83%)

\*第三者支援額率: 88.5%(←500万円以上PJの弊社平均65%)

※支援時アンケートで「実行者と知り合いである」にチェックをつけなかった人

\*応援コメント記入率: 65%(←弊社平均65%)

※「頑張ってください!」以外のコメントを記入した人

株式会社READYFOR | 株式会社ニフコ | 株式会社ニフコ | 株式会社ニフコ | 株式会社ニフコ | 株式会社ニフコ

伊須どうぶつ王国 | 野生へのPJセカンドチャレンジ

動物の保護



目標金額  
42,125,000円 (達成率100%)

現在  
2,635人 2021年10月31日

プロジェクトの紹介

START BACKUP

【参考】前回データ



\*訪問者数: 89,907人

\*支援者数: 2,978人

\*支援金額: 53,485,000円 (534%)

\*支援率: 3.31%

\*READYFORユーザー率: 19%

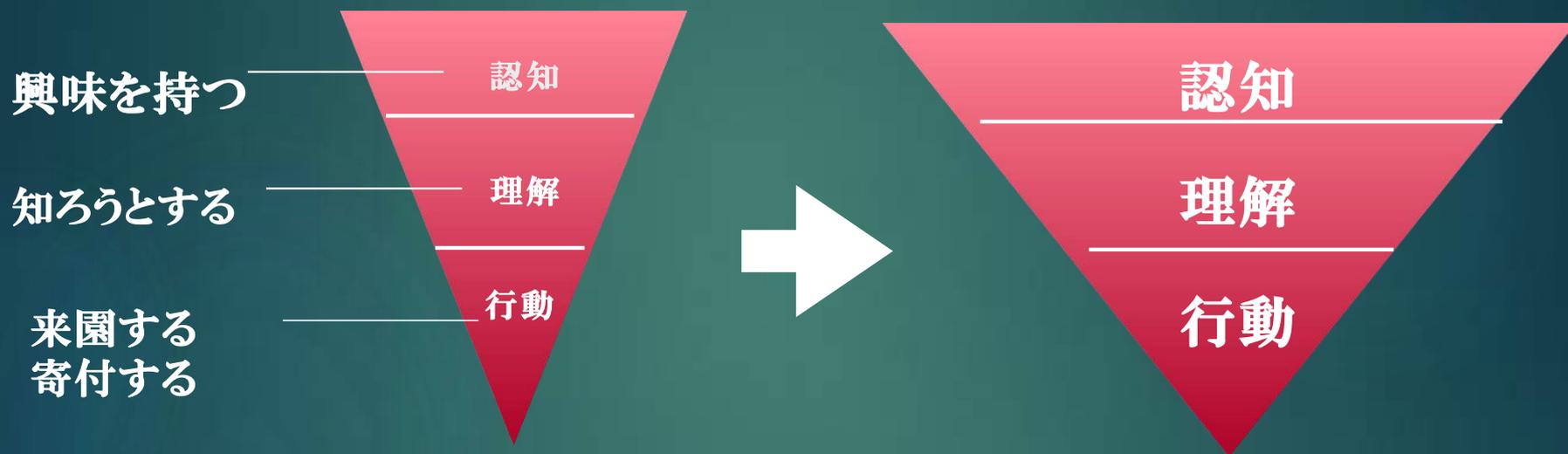
\*第三者支援数率: 89.86%

\*第三者支援額率: 82.0%

画プロジェクトに支援したユーザー数: 850人(前回PJ支援者の28.5%)

5

# コロナ禍の最重要課題 ⇒「認知の裾野を広げる！」



認知の幅を広げることで、  
その先のアクションの数も上げる

IDEA

# 「マヌルネコの歌」



**WEBで389万再生**

**(YouTubeで250万再生、Twitterで139万再生)**

# コロナ禍 YouTube配信 その課題

拡散

・バズる

動物園  
公式発信

エンタメ  
(挑戦)

認知拡大

・バグる(不具合・意外性)

保全

重低音  
ビート

おとな版「みんなのうた」

世の中のあらゆる面白いコンテンツは全て「ギャップ」で理解できる。

## 殺生石の現状

### “3月5日/殺生石が2つに割れる“

観光資源のルーツであり中核をなす殺生石が破損。  
SNSでも、社会環境から大きな話題につながった。



### プロジェクトにおける本資源の扱い

本プロジェクトでは、  
現状の破損については、観光資源の喪失ではなく、  
本資源の価値化の意義、参加したくなるストーリー作成の機会として捉える。



割れた殺生石自体を  
観光コンテンツとして成立させる。

コンセプト

## ミステリアステーマパーク、那須町。

殺生石から生まれる狐というコンセプトのもと、

街全体をミステリアスなテーマパークとしてブランディングしていく。



皆様に感謝！ ご清聴ありがとうございました

カピィ〜ハッピ〜



<パネルディスカッション>

パネリスト 西須 紀昭 様

那須塩原市観光局 局長

A middle-aged man with glasses and a mustache, wearing a red patterned shirt and a red tie, is giving a thumbs up with both hands. He is sitting in front of a wooden wall. The text is overlaid on the image.

世界の **ESG Market** ・  
**Regenerative Tourism**  
に込める地域観光価値創造

一般社団法人 那須塩原市観光局  
局長 西須 紀昭

# ■ Environment 環境・脱炭素

National  
Parks  
of Japan



## 塩原温泉・板室温泉地区（那須塩原市） のゼロカーボンパーク登録（全国第3号）

※令和4年4月1日時点

### 1. 塩原温泉・板室温泉地区と日光国立公園

- ✓ 栃木県那須塩原市は、日光国立公園の那須甲子・塩原地域内に位置し、中でも塩原温泉・板室温泉地区は、美しい渓谷や良質な温泉を求めて多くの利用者が訪れる地域
- ✓ 全国で12番目にゼロカーボンシティを表明（R1.12）
- ✓ Green Destinations 世界の持続可能な観光地TOP100選に選定



### 2. ゼロカーボンパークに向けた那須塩原市の取組

#### ① 温泉排熱の利用・温泉供給設備の高効率化等

- ・ 板室温泉では、地域関係者を主体とした温泉熱の利用を検討  
令和3年度：環境省事業によるワークショップを開催
- ・ 塩原・板室温泉において、温泉供給設備のCO<sub>2</sub>削減のための改修
- ・ 塩原温泉では、地熱エネルギーについて考える会を開催し、環境と調和し地域に貢献する再生可能エネルギーへの理解醸成



## 2. ゼロカーボンパークに向けた那須塩原市の取組

### ② グリーンスローモビリティの活用

- 塩原温泉では、栃木県の事業によるグリーンスローモビリティを用いた自動運転バスの実証実験をもとに、CO<sub>2</sub>を削減する新たな交通手段を検討



### ③ プラスチックごみ削減対策

- 塩原温泉では、令和4年4月からレジ袋用に地域独自の紙袋を作成し、地域店舗での導入を促進



## 3. 環境省における対応

- ✓ 現地の地方環境事務所の伴走支援や、ワークショップ開催等による計画策定支援、温泉供給設備の改修支援等により市の脱炭素化の取組を後押し

○ 世界の持続可能な観光地TOP100選出

○ 地域新電力会社設立



ビニプラ削減・紙袋化(塩原) レンタe-MTB

■ Social 社会 (賑わいの街)

# ■ Regenerative Tourism



レンタe-ファットバイク  
獣害対策里山緩衝地帯  
アクティビティパーク化



<パネルディスカッション>

パネリスト 坂内 剛至 様

有限会社ネイチャープラネット 代表取締役

< 閉会 >

沼尾 綾乃

株式会社DMC鬼怒川温泉 取締役